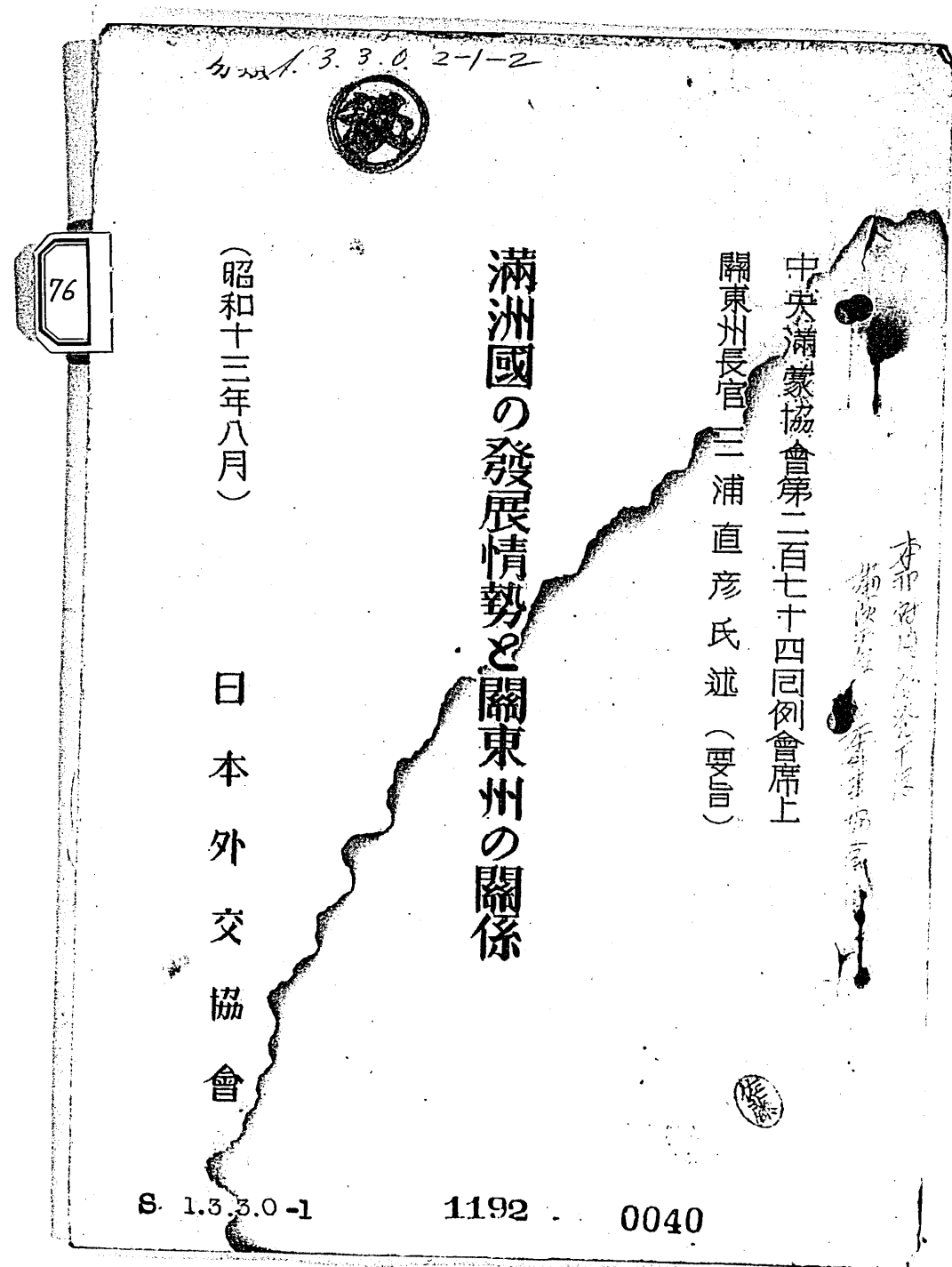




三浦閣東州長官は新京及関東州に在任、久しく滿洲國の發展情勢を認知せられたるに、此の程官命を以て上京せられたるを以て、本協會に於て親しく同長官の所懐を拜聴したり。本稿は右講述要旨を協會幹事の筆録したるものなり。稿中對滿對支所見其他に於て公表すべからざるものあれども、同長官は既に歸任せられて之が査閲を乞ふ能はざるを以て、一切の責任は協會に於て之れを負担し、少數會員に限り參考資料として本複寫を贈呈することとせり。從て受贈者は取扱方に特に留意せられたし。

昭和十三年八月

日本外交協會調査局

S 1.3.3.0-1

1193... 0041

第一	異常なる滿洲國の發展ぶり	二
(一)	日本人六十萬を超ゆ	二
(二)	鐵道・道路の新設改修	三
第二	治安の現状	四
(一)	匪賊と其の種類	四
(二)	事変以來匪賊の襲撃目標	五
(三)	工場倉庫へ警備員を配置	七
第三	産業五ヶ年計畫の經過	九
(一)	外貨取得が困難	九
(二)	對日貿易は輸入超過	一
第四	滿洲國生成發展の動力	一
(一)	日本人の民族的優秀性	一
第五	滿洲の繁榮と人口増殖問題	一五
(一)	在滿機關の協力一致	一五
(二)	日露戦以來の基礎的準備	一六
第六	關東州の現勢概観	一八
(一)	大連	一八
(二)	貿易港としての大連	二四
(三)	工業都市としての大連	二五
(四)	旅順	二七
(五)	農山漁村	二九
(六)	滿洲國との關係	三一

—— (目次終り) ——

S 1.3.3.0-1 1195

S 1.3.3.0-1 1194 0042



滿洲國の發展情勢と關東州の關係

關東州長官 三浦直彦氏述（要旨）

私は約三ヶ年の間新京に居りまして、この四月に大連の關東州廳の方に轉任して参つたのであります。新京に於ては關東局に居りました關係上、主として日本側の仕事をやつて居りました。従つて滿洲國の事情に就いては大して研究をして居ないのであります。尚又關東州廳の方にも長く居りませぬので大した研究もありませぬ。さう云ふ關係で滿洲の話をするやうなといふことでありましたが、唯最近の滿洲國並に關東州のアウト・ラインに就いて種く概畧を申上げ、又両者の關係に就いて一言申上げたいと思ひます。

S 1.3.3.0-1

1196

0043

第一 異常なる滿洲國の發展ぶり

近頃内地の方から滿洲支那方面へ旅行にお出になるお方が多いのであります。さういふお方の御感想は先づ第一に滿洲國の非常な發展に驚かれるのであります。第二には外國を旅行するといふやうな氣持は全然しない、全く内地の延長のやうな氣持で旅行されるやうであります。それは事實は全くその通りでありまして、近頃の滿洲國の發展は實に非常なものがあると思ひます。私は昭和十年に参りました。丁度遠藤（柳作氏）さんもまだおみでの頃であります。その頃も非常な發展振に驚きましたが、それから三年以上経つて今日再びこの滿洲を見る時に更にその發展に驚くのであります。多分遠藤さんも今おみでならぬ又非常に受つたことにびっくりされると思ふのであります。

（一）日本人六十萬を超ゆ。其の内特に目立つのは我が日本人の満

S 1.3.3.0-1

1197

洲に於ける發展活動振であります。事変前の二十五萬程度の日本人が今では六十萬を超え二倍以上の數に上ほつて居ります。それから農村は固より國境やその末梢神經に至るまで、國防上治安上、又政治産業上有ゆる實權を握かな日本人が總て之を握つて居るといふやうな状態であります。實に日本人の發展振に驚かされるのであります。

(二) 鐵道、道路の新設改修 鐵道にしても事変前と現在と比べると、正確な數字は持つて居りませぬけれども、その建設哩數に於ても非常な相違であります。鐵道經營といふ方面でも總て一元化して實に旨くやつて居るやうな状態であります。或は道路の新設改修の方面でも、農村に至るまで随分長距離な道路の新設改修が行はれて居ります。

第二 治安の現状

(一) 匪賊と其の種類 殊に着しく感ずるのは治安の状況であります。三年前までは匪賊の數は三萬人位でありましたが、現在に於ては一萬程度、一年に一萬位づゝ減する。併し之は今後もその率で減るのではない。これから減つて居るのではありません。所が匪賊の素質は従前のものと質的に變化を來して居るやうであります。現在に寧ろ政治匪が多くなつて居ります。職業匪は泥棒することを以て職業として居るのでありますから、思想的の根柢はない辭であります。然るに政治匪になるとは食つて行く爲には泥棒をするけれども、それよりも國家の權力に對する反抗といふものが主たる目的になつて居るやうであります。或は鐵道を破壊するとか、或は警察署を襲撃して警察官を殺すとか、權力に對して反抗する性質を持つ

S 1.3.3.0-1

1199

S 1.3.3.0-1

1198

0044

た者が多い。併しその一萬の匪賊は皆思想的に訓練されたものかといふと決してさうでない、殆んど大部分は食はんが爲にやって居るのであるが、それを指導する指導精神が政治的になって居るといふ點が注目すべき所であらうと思ひます。従つてその政治的目標はやはり共産主義と聯絡を取つて居る。即ち蘇聯との關係に就て深甚の留意を要するものがあると思ひます。

〔三〕 事變以來匪賊の襲撃目標 斯様に質的變化は來して居るけれども、その數に於ては段々減少しつゝある。唯昨年の支那事變以來治安方面も事變を原因として、變化といふか、相當問題を起して居るのであります。第一に狙ふ所は、去年の初に於ては鐵道崩壊、列車襲撃に勢力を集中したやうであります。去年も事變が起つて早々旅順・新京間の夜行の急行列車が顛覆されて死傷者を出したことがあります。さういふやうな列車妨害といふ方面には相當力を盡して

居つたやうであります。それから日滿要人の暗殺といふ方面も相當計画して居るといふ情報も段々入つて居ります。大官を殺せば五萬圓、下の方ならば五千圓といふやうに階級に依つて値段が違ふやうであります。所が彼等の所業は此の要人暗殺といふ方面から近來其の方向を轉換して、今度は重要物資の焼却といふ方面に全力を集中して來て居るやうであります。過般も大連のXXXX會社が焼けました。風の方向に依つて大した大事にはならなかつたが、風の方向如何に依つて全部之が焼けるとなれば大問題であります。幸にして二棟焼けただけで済んだが、それでも一棟に五萬圓も入つて居るのですから大変な火事であつた。(中略)その原因をよく調べてみるにやばりその苦力が放火して居る。その苦力は全然無智蒙昧な者であるが、所謂街頭連絡に依つて、或る細胞の分子から指令を受けて、金その他に依つて買収されてやったものであります。手口は大抵同じで藥品で焼くのであります。硫酸と塩酸加里を使つて居るや

S 1.3.3.0-1

1201

S 1.3.3.0-1

1200

0045

うで、小さい罐の中へそれらの薬品を入れて一定の時間が経つと硫
酸が下へ落ちて行つて自然に發火する装置になつて居る。それを石
油の中へ入れて置くのでありますから、それを防ぐのはなか／＼困
難であります。大連の大事もその手でやられたのであります。無論
下手人は捕へました。いつも下手人は大抵捕へるのであります。が、
その上の細胞になると判らない。一番の親玉をと思つて一生懸命や
つて居るが、それがなか／＼判らない。餘程巧妙にやつて居ると思
ふのであります。過日満鐵の××にも同じやうな事件があつた。之
は××の××四棟ほど焼けたのであります。この損害は五百萬圓乃
至千萬圓に上つたのであります。この原因はまだ判らず今以て調査
中であります。

③ 工場倉庫へ警備員を配置 斯ういふ暴力行爲は至る所で行は
れて居ります。無論奉天邊にもあるが、本場は何といつても大連で

S 1.3.3.0-1

1202 0046

あります。之等の表本人は誰かと云ふので一年程前から随分探して
居りまして、大体目星はついて居るけれども、なか／＼手掛りが取
れない。途中まで行くのでありますけれども、それ以上もう最後と
いふ所で手が届かないといふやうな状態であります。今まで大連で
或は×の倉庫へさういふ装置をしてみたり、或は××の×××へ破
置をしてみたり、大抵は倉庫であるが、その末遂に二十件ほどあり
ました。既遂は三件ぐらゐあります。二十件の末遂に三件の既遂は
自慢にならないが、さういふ物質を狙ふのが其の特色であり、當方
としては非常に面白くないのであります。そこで少數の警察官では
到底大きな××や××を破る譯には行かないので、この頃は自警的
に各工場毎に警備員を配置して警察官に代つて、それ／＼自分の工
場なり倉庫を破つて居るといふやうな状態であります。要するに全
滿の治安は在滿軍兵の努力に依つて段々と回復しつつあるのであり
ますけれども、それは一般に回復したのであつて、今回の事変を中

1203

S 1.3.3.0-1

心としては、今申上げたやうな油断のならない新事件の防衛に専念させられて居るのであります。

第三 産業五年計畫の経過

(一) 外貨取得が困難 次に産業方面に於ては大体産業五年計畫の目安が着きまして、その線に沿つて進んで居るやうであります。何分にも近頃は外貨取得の困難な爲に資材を購入するのに不便を感じて居るのであります。殊に機械の如きはなかに購入が出来ない。爲替管理等の関係もありますので、五ヶ年計畫を圓高に遂行することゝが容易な状態ではないのであります。通商×××の幹部が東京に來られて、いろ／＼爲替に就いての會議を開かれたやうであります。が、從來は大連から輸出する輸出金額の六割だけは輸入が出来るといふやうな内地との取扱であつたが、その程度では満洲の五ヶ年計

S 1.3.3.0-1

1204

0047

畫は到底遂行出来ない。どうしても輸出した金額だけは全部満洲に於て輸入をして貰ひたい。いふ意味に於て陳情に來て會議を開いたのであります。が、どうやらさういふやうに決まつたやうでありません。計畫は相當立つても物が入らない。物資の中でも製造機器機械のやうな資材を外國から買ふことがなかに困難であるといふことが悩みになつて居るのであります。所謂滿洲會社の如きも非常な大計畫であります。が、やはり一番の悩みは外貨取得の困難といふことにある譯であります。

外貨を取得出来ないといふことは即ち外國の物資が輸入出来ないといふことでもあります。これは單に満洲ばかりではない。内地でも同様なことが考へられるのであります。併しさういふ問題は別として先づ産業計畫は農業、林業、畜産總てその計畫の緒に就いて居るといふ状況であります。尚又内地品の満洲國への輸出は非常に盛であります。満洲國內の品物の殆ど五割までは内地から來るものであり

S 1.3.3.0-1

1205

ます。

(一) 對日貿易は輸入超過 滿洲國の海外貿易の方は日本に對しては輸入超過になつて居ります。第三國に對しては輸出超過、全体としては或る程度輸入超過であります。輸入超過の大部分は何かといふと、日本内地への支拂に對する輸入超過であつて、その程度に日本の製品が洪水の如く滿洲に流れ込んで居るといふことが分るのであります。斯様に人的にも物的にも日本が滿洲國に幾々進展するといふことは、非常に喜ばしい傾向であると考へるのであります。

第四 滿洲國生成發展の動力

(二) 日本人の民族的優秀性 滿洲の國都新京は、建設當時より急速な進展を遂げたのであります。現在に於ては非常な上品な町とし

S 1.3.3.0-1

1206. 0048

て、國都に相應しいだけの外觀を呈して居ります。斯の如く滿洲人も日本人も幾々發展して行くといふことは、一体如何なる原因に依るものかと考へてみるに、先づ何と言つても、第一に日本民族の優秀であるといふことに歸着すると思ふのであります。滿人・鮮人等に比べて確に優秀な民族であるといふことを確信して居ります。それは道義的にも技術的にも、亦智的にも、凡ゆる方面に於て、日本人が優越であるといふことを如實に感ずるのであります。滿洲人は相當誇を持つて居ります。或る滿洲の大官は「日本人に對して我々滿洲人の男は決して負けない。併し女はどうしても敵はない」と言つて居る。成程滿洲の女は實に低級であると思へます。從來の環境や教養の程度から来るものと思ひますが、之に比べると、日本の婦人は實に眞面目で優秀であるやうに考へられるのであります。國民の約半數を占めて居る女が優秀だといふことは、之は日本の非常な強味であると考へられるのであります。私共も今關東州内に於て

S 1.3.3.0-1

1207

満人の女をもう少し進歩させ、啓蒙させるやうに全力を傾注して居る譯であります。男にしても、満人が有惚れるほど日本人に負けないといふことは決してない。日本の男もやはり精神的にもどの方面から言っても、彼等を指導するだけの能力を持つて居るといふことは、之ははつきりと申し上げ得ると思ひます。之が發展の第一の原因だと思ひます。

(二) 在滿機關の協力一致 第二には在滿の各機關が從來協力一致してやって来たといふ點であります。局部的には又局時的には、いろいろ非難もあつたのでありますけれども、結論としてはやはり協力一致してやって来たといふ點が最大原因をなして居ると思ひます。御承知の通り、新京の政治機構並に行政機構は實に複雑であります。大別すると先づ二大機構である。一は滿洲國政府、それは 皇帝を戴き、國務總理を中心とした一つの系統、一つは日本側の機關、即

S 1.3.3.0-1 1208 0049

ち関東軍司令官があり、而も関東軍司令官が全權大使を兼ねて居られる。尚ほその全權大使は二つの資格を持つて居る。その一つは外務省系統の全權大使、もう一つは関東局長官としての全權大使であります。斯う云ふ工合に軍司令官が同時に全權大使であり、その下には最高級の輔佐官として參謀長が居り、外務省系統の全權大使には大使館參事官があり、関東局關係の全權大使に関東局總長が居るといふやうなわけで、一つで三つの脚に依つて動いて居る。それから細い脚であります。もう一つは、それが機關として教務部といふのが大使館に置かれた。之は全權大使直屬の機關で、教務部長といふものが出来た。この四つの脚に依つて動いて居るのであります。斯う云ふ工合に滿洲國と日本國と二つの大機關が併立して居って、而かも関東軍司令官が滿洲國に對して内面指導をするといふ關係になつて居ります。

S 1.3.3.0-1 1209

す。謂はば複雑な而かも極めて精巧な機械のやうなものであります。この精巧な機械は一ヶ所で少しでも狂ひが生ずると直ぐ止まつてしまふといふ關係にあります。ですから之は全部が健全に動いて行かなければ、この精巧な機械は有終の美を収めることは出来ないのではありません。幸にして建國以來この精巧な機械は非常に強力な彈條に依つて今日まで頗る圓滑に何等の故障なく動いて來たのであります。先づ結果から見ても、非常に一致協力して一体を成してやつて來たといふことが、非常な發展を遂げた大きな原因になつて居ると思ふのであります。治外法權撤廢、附屬地行政權移讓の如きも各關係者の協力一致の果であると考えられる譯であります。

(四) 曰露役以來の基礎的準備 尚ほもう一つ見逃すことの出來ないことは、滿洲國が成立するに就いては、非常な準備が出來て居たといふことでもあります。換言すれば滿洲國は決して滿洲事變後に

S 1.3.3.0-1

1210

0050

出來た國ではありません。滿洲國を作るその基礎といふものが、曰露戰爭の時に出來たのであるといふやうに考へるのであります。曰露戰爭に多くの人命を啗り又莫大の國帑を費した。その際に遼東半島に依つて曰本の根據地が明かにされた。それが先づ始まりであります。それから附屬地を手に入れた。その根幹鐵道と見るべき滿鐵が出來、又附屬地行政權の獲得に依つて、各種の警察その他の機關が確立された。我が領事館ではそれによつて治外法權に基く各種の施設を行ふといふ工合に、總ての根幹を培養して來たのであります。さうして偶然にも、滿洲事變が起つてから直ちに、それから準備して居た各機關がそれによつて適當に而かも有効に動き出した。北滿の如きも滿鐵に依つて養成された職員が活動して、以て急速に鐵道の警備に當つた譯であります。附屬地に於ける日本側警察官の優秀なることは内地のそれと匹敵するものであります。それが直ちに治安の方面に就いて軌を示したのであります。又滿鐵のいろくを試驗場が

S 1.3.3.0-1

1211

ありますが、それらは總て農民を指導して來たのであります。さういふ風に整った機關が同時に動き出した譯であるから、僅か五六年で以て今日の如き滿洲國が建設されたのであります。之は決して、滿洲事変が起つたから突然、六ヶ年間に滿洲國が建設されたものではないと私は見て居ります。

之に比べると今日支那の如きは從來はそれほどの準備が出来て居りませぬ。従つて之を五年や六年で立派に建設するといふことは極めて困難な望みでないかと思ふのであります。少なくとも二十年三十年を経て始めて建設が出来るのであります。滿洲ですら三十餘年を費して今日の状態になつたことを思へば、支那に對しても相當の年月を藉さなければ其の建設は困難と思ふのであります。不幸にして今日或種の悲觀論を耳にするのであります。對支工作と云ふものは、戰間行為は成るべく早く終結することは希望するのであるが、建設工作はやはり百年の大計を立て、焦らずゆる／＼とや

S 1.3.3.0-1

1212.0 0051

つて行くやうにしなければならぬと考へます。之は蛇足であります。が、兎に角、滿洲國建設の成功せる原因は、早くから既に各種の準備が出来て居つたといふことにあると考へて居ります。

第五 滿洲繁榮と人口増殖問題

附 日本人の滿洲移民目標に就て

今後の滿洲に取つて、滿洲國を強化し且つ日本人が發展する爲に如何の條件があると思ひます。その中で特に重要な問題と思ふのは、滿洲國の人口を増やすといふことである。つまり人口の多いといふことが國が繁榮する根本條件であるやうに私は考へて居ります。日本内地が今日の如く立派な状態になつたに就てはいろいろ原因がありませう。がしかし、人口が多い、而も優秀な人口が多いといふことがその大きな原因をなして居ると思ふのであります。人

S 1.3.3.0-1

1213

口が多ければ従って勞力も殖えるし、又智力も豊富な譯である。尚
又一面收入が殖えれば負担力も殖える。負担力が殖えれば公共の施
設も盛になる。この見地から滿洲に於ても人口を殖やすといふこと
が焦眉の急務であると考えます。現在滿洲は毎年五十萬人殖える。
北支の方から苦力が來るけれども、山東苦力のやうなマイナスに近
いやうな人物が幾ら殖えてもあまり役に立たない。勞力方面では奉
仕して居るけれども、優秀な人間を多く出さなければならぬといふ
點から考へると、どうしても大和民族の數が殖えなければいけない
と思ひます。私は全般的に見て日本人の數が少な過ぎるといふ感じ
を持つのであります。それは單に滿洲國を立派にして行くといふ見
地からだけではない、滿洲國內の治安を自治的に確立して行く爲に
はどうしても大和民族が殖えなければいけない、滿洲には他の民族
が多く居るけれども、本藩に信頼出来るものはやはり大和民族を措い
て他にないのであります。平和の時代に於ては治まつて居るけれど

S 1.3.3.0-1

1214

0052

も、民族の眞の融和といふものはなかく一朝一夕にして行はれる
ものでない。朝鮮人に於てさうであらうと思ひます。現在朝鮮人は
非常に好い氣持になつて居るやうでありますけれども、それでは誠
心誠意日本に忠誠を表して居るかといふことをよく考へてみると、
必ずしもさうぢやないと思ひます。やはり利害關係が先に立つて居
るのぢやないかといふ氣がするのであります。滿人にしても一部に
は心から日本に敬意を表して居る者もありますが、大部分の
ものはさうであるといふ断定は現在の所即断出来なないと思ひます。
さう考へるとやはり、いざといふ場合に信頼するのは日本人だけで
ある。實はさうあつてはならないのであつて、之は大いに啓蒙啓蒙
の運動をやるべきであると思ひますけれども、我々の見る所ではま
だどこまで進歩した段階に進んで居ないと思ふのであります。斯様
に滿洲國の治安確立といふ點から見ると、農民と言はず勞働者と言
はず、又知識階級と言はず、日本人が益々殖えることが非常に重要

S 1.3.3.0-1

1215

なことであり、先決問題と思ふのであります。斯ういふ意味から移民の如きも大いに満洲國に奨励すべきであると思ひます。

ところが、従來の満洲移民に對する考へ方は、日本内地の立場としては、人口が過剰であるとか、食糧問題を解決しなければならぬとか、或は農村の窮乏を救済するといふやうに、唯日本内地の都合の爲めにのみ移民を送るといふ風に考へる向もあるのであります。しかしそれではいけないと思ふ。移民の目標はもつと程度の高いものでなければならぬ。満洲國を益々立派にする。満洲國といつても、唯滿人のみの國ではない。滿人の國でもあり日本人の國でもあるといふ關係に於て、益々満洲國を強化し發展せしめて、名實共に本と不可分の國に仕上げると云ふのが、日本人に課せられた重要な使命であると思ふのであります。さういふ重要な使命達成の爲に、移民の目標を決めて行かなければならぬと思ふのであります。その結果として、日本の人口問題、食糧問題が解決出来れば、好都合

S 1.3.3.0-1

1216

0053

と思ひますが、目標は日本の大民族としての、高度の意識に基いた觀念を持つて進むべきものと考へたいのであります。

要するに日本人の發展といふ立場から言へば、第一に治安の確立第二には衛生状態の改善、第三には教育施設の完備といふことが必要であります。治安の状態は先に申した通りであります。衛生状態は不完全であります。醫者は足りない。どうしても衛生機關をもう少し整備しなければならぬ。教育の方は大体旨く行つて居ります。大使館に教務部が出来て、従來の在滿日本人の教育を全權大使の下に總て一元的に統一して行つて居ります。小學校の数は百五十餘、中學校が二十餘、その他青年學校もありまして、内地より寧ろ進んだ程度の教育機關もあります。日本人に取つては非常に幸福であります。所が急激な人口の増加の爲に之に應ずるだけの設備が出来ないので非常に困つて居りますけれども、全力を擧げて教育機關の完備に努力して居るのであります。

S 1.3.3.0-1

1217

第六 関東州の現勢概観

次に関東州の事情に就いて申し上げます。関東州は廣きに於て内地の烏取縣ぐらゐ、人口は百二十萬といふのですから人口の密度は相當大きい譯であります。日本の統治下になつてから三十三年になり隣の満洲國に比べると相當に進歩發達した所であります。今之れを大連と旅順及びその他の農山漁村に大別して概況を申し上げます。

(一) 大連 大連は現在人口が五十一萬、その内、日本人が十七萬——十七萬と言へば日本内地でも相當なものであります。大連の都市計画はロシア人がやつたので、それを建設したのが日本人であります。大体ロシア人のやつた計画を踏襲してやつたのであるが、全部その通りではない。それにしてもロシア人の設計が相當

大きいものであったことが判る。無論現在はそれよりも大きくなつて居ります。

(二) 貿易港としての大連 大連港は天然の良港で、地理的に一番良い場所を占めて居ります。満洲にも營口、葫蘆島、安東、北鮮の方には羅津、清津等の港がありますが、凡ゆる條件に於て大連には及ばないのであります。設備から言つても大連の所謂貨物吞吐能力は實に偉大なものであります。一年に千二百萬噸位の能力を持つて居る。他の港は大抵二百萬噸位しか能力がないから、つまり全滿の港を全部合して丁度大連と同じ程度になるといふ譯であります。而も他の港は何れも冬凍結しますが、ひとり大連だけは凍らないといふ天然の良港であります。殊に滿洲事變以來非常な發展を遂げ、貿易額の如きも昨年は輸出入合して十三億、本年は益々増えると思ひます。従来は主として滿洲の特産物たる大豆、高粱、粟、石炭等を輸出して居つたけれども、この頃は産業五ヶ年計画でいろいろ資材

3 1.3.3.0 -1

1219

S. 1.3.3.0 -1

1218

0054

を要するので、反對に輸入増になつてゐる。所が從來は主として輸出港であつたから陸揚の設備等が何等出来てゐないので、色々輸入の設備をやつて居るがなかく追つ付かないやうです。毎日港外には十艘以上の船が待つて居つて、十日も十五日も待たされると荷物を陸揚しないで船が歸つてしまふといふ状態であります。故に今後はこの輸入激増に伴ふ大連港の完備といふ方面に力を入れなければならぬと考へて居ります。

(四) 工業都市としての大連　大連は滿洲國の門戸をなして居るので、外國から來た物は殆どここを通つて與へ與へと行く。日本の品物が支那に行く時にも全部大連に先づ行く。そこで一應陸揚をして商機を見て居る譯である。支那の方から來る物も先づ大連に來てそこで取次ぐ。仲經貿易港としても非常に盛である。尚ほ商業都市として貿易港として重要な地点であるのみならず、工業都市としても近頃の發展振は非常なものであるであります。滿洲事変前まで經

S 1.3.3.0-1

1220 0055

營難に陥つて居つた各工場も事變後はすつと盛に煙を出して居る。國策的に重要な工業も着々出来て來、近頃は各種の工場が出来て居る。今後大連に工場を造りたいといふ申出が殺到すると思つて居ります。所が工場を造るには三つの要件を要する。即ち土地と電力と水であります。土地の方は廣い場所が無くなつたので海岸を埋立てて臨海工場地帯を作らなければならぬといふ譯で、最近その計画を立てて之から段々埋立をする事になつて居ります。それをやれば二百萬乃至三百萬坪は出来るのであります。電力は滿洲方面に豊富であり、又鴨綠江方面からも來ますから電力の心配はないが、一番心配なのは水である。現在は旅順大連間に六ヶ所の貯水池を造つて雨水で賄つて居る。今、五十萬の人口を養つて行く爲には現在の貯水池で間に合ふのであります。一日に五萬噸の水が要る。さうして大体十人一日一噸を要する。現在は五十萬であるから丁度五萬噸だけの水が取れるので一杯である。併し今後人口が直え、工業が發

S 1.3.3.0-1

1221

展すれは到底足りない。而も旅順大連間の水は殆ど取り盡して之以上は取れない、それで已むを得ず今度は滿洲國との境にある碧流河まで溯って行く計画を立てて居ります。そこまで行けば八萬噸の水が取れるから八十萬人を養ふことが出来る。現在は五萬噸ですからそれが十三萬噸になれば百三十萬人までは行ける。さうなれば工場が相當殖えても先づ大丈夫といふ見極めがつくのであります。之には五千萬圓の工事費が掛る。初からそれだけの金を出してそれに伴ふだけの工事をするのが出来ない。それで今は取敢ず金州までの計画を立てて、八百萬圓の豫算で八千噸だけの水を取る計画をして居る。パイプの如きは八萬噸の水が取れるだけの準備をして居るのであります。斯の如く水の問題が解決すれば、將來大連の工業は相當有望であるやうに考へられるのであります。

(二) 旅 順

次に旅順であります。人口は三萬二千人居る極く

小さい町であります。從來は關東軍があり關東軍が居ったから、政治、國防の中心は旅順にあつた譯であります。滿洲事變以後關東軍は新京に移り、關東州廳は昨年六月大連に移轉したので國防上行政上の中心地では無くなつた譯であります。要港と要塞はあるけれども、それ以外には何物もない状態であります。旅順は戦跡地であるから聖地として育てて行くのが一番宜いではないか、精神文化の中心として旅順を生かして行くことが旅順の本質として意義ある所以であると考え。現在旅順には工科大學があつて段々擴張されて居る。又一昨年師範學校を作つて日本人の教育指導をする教員を養成して居る。今年第一回の卒業生を出したのであります。從來は小學校の教員を一ヶ年に三百人づゝ内地から各府縣に頼んで推薦して貰つて採つたのであるが、今度は半分の百五十人だけは旅順で養成するやうになつた。之は現地と内地と両方から教育された者が滿洲で働くといふことは両者有無疏通する意味から言つても理想的で

S 1.3.3.0-1

1223

S 1.3.3.0-1

1222

0056

はないかといふ考でやつて居るのであります。又博物館なども東洋
一と言はれる立派なものを持つて居ります。戦利品記念館の如き砲
艦立派なものであります。最近旅順に關東神宮の御造營奉祀を許
されたのであります。天照大神と明治天皇を御祀りすることに
なつたのであります。關東州在住の日本人は非常に感激して、勤勞
奉仕をしたいといふ者が出て來て居るのであります。本年の九月か
ら愈々工事に着手することになつて居ります。之に依つて在滿在關
の日本人の氣分といふものが非常に落着いて氣持も明朗になると思
ふのであつて、非常に喜ばしい現象であると考え居ります。斯の
如く旅順は教育その他の精神文化方面の施設に力を集中して居る譯
であります。

(三) 農山漁村 大連、旅順以外は農村山村漁村であります。大
部分は殆ど農業を管んで居ります。土着の滿洲人は何れも生活を樂

S 1.3.3.0-1

1224
0057

みつつ裕福な生活をして居ります。住宅にしても寧ろ内地の農民よ
り立派な家に住んで居り、相當金も持つて居るといふ状態でありま
す。大体従来の關東廳の行政は植民地行政といふ見地からやつて居
るから、従つて日本人本位の行政、つまり大都會本位の行政施設に
集中されて來たのであります。だからまだ充分に農村は發達して居
るとは思ひませぬ。内地の農村などに比べると發達の程度は雲泥の
相違があるのであります。所が滿洲國の方は農業政策を實行して益
農業開發を圖つて居るのであるから、單に關東州のみが從來通りや
つて居るといふ譯に行かない。大いに農村開發といふ方面に力を入
れなければならぬと考へて居ります。

漁業の方も汽船底曳網漁業で、非常に收穫が多い。現在一年に七
百萬圓位の魚獲がある。主として會社が之に當つて居ります。又海
岸では兩が非常に少ない關係で漁業が非常に盛であります。年に四
十五萬担の塩が出る。その内三十數萬担は工業用塩として内地に送

S 1.3.3.0-1

1225

って居ります。雨量は内地の三分の一位しかない。蒸發量は一割七分、内地の約二倍位といふのですから非常に乾くのであります。そういう關係で原始的な、天日乾かして塩にするといふやうな簡便な方法を採って居る。現に増産計画をやって居りますので、五ヶ年計画の後には相當な産額になるものと考へて居ります。

④ 滿洲國との關係 最後に滿洲國と關東州との關係であります。御承知の通り、關東州は日本の統治下にあり、日本の法令に依つて日本の官吏が治めて居る。従つて法令その他は總て内地と同じであります。今度の事變に對しても、或は爲替管理法、輸出品臨時措置法、船舶管理法、資金調整法等のいろいろ、非常時局に對應しての法制が布かれましたが、關東州に於ても内地と同じやうな法令を實施して居ります。併し經濟的に考へると、やはり關東州は滿洲國と一体をなして滿洲の經濟ブロックをなして居る譯である。大連港

S 1.3.3.0-1

1226
0058

の如きも、唯關東州の大連港ではないのであつて、滿洲國の門戸になつて居り、その他各種産業に就いて考へても總て滿洲國と密接な關係を持つて居ります。従つて何を實施するにしても滿洲國と同じ方針を採らなければやつて行けない。法令の体裁は日本のものを採つて居るけれども、それを運用する方針は滿洲國と同じやうにしなければならぬ。滿洲國でも成べく日本の法令と内容を同じくしたものを制定して貰ふ必要がある。幸にして爲替管理法の如きは、從來から滿洲國と關東州とは全然その内容が同じであるから、爲替の許可方針も全く同じであつて、一方が許可すれば一方は許可しなくても宜いといふ程度まで行つて居ります。資金調整法の如きも同じ方針を取つて居ります。經濟的には同体一身になつて行く必要がある。今、同は又第二次的に從來のやり方を強化したのであります。今、と言ふのは滿洲國へ輸入するものの約八割は大連で爲替の許可を

S 1.3.3.0-1

1227

する。品物は満洲國に入っても銀行業務その他の輸出入の業務は大連でやって居るから、私の方で許可するといふことになる。それは満洲國でも四圍。一箇に仕事をしなければならぬといふので、満洲國と関東局の同じ事務所で一箇になつてやるといふことにしたのであります。関東州では全權大使、満洲國では經濟部大臣の名前で許可する。密査は共同でやる。爲替資金の如きも従来は各銀行が互々にやって居つたけれども、中央銀行に一先づ買上げて、そこで全般的に集めてマネージする。関東局と満洲國の両者の官吏が一箇に入つてやる。それから各取引銀行に送るといふことにして完全な統制をすることになつた譯であります。けれども行政權としてはやはり日本側のものであるから、日本側の行政權を侵すといふことは、それは絶対にやらせない積りで居るのであります。

斯様な譯で満洲國と関東州との関係は實に密接でありますから、両者の関係を旨く統制する必要がある。その爲に新京に関東局があ

S 1.3.3.0 -1

1228

0059

る譯であります。両者がそれ／＼折衝をして摩擦を防ぐやうにして居る。普通ならは関東州廳だけが関東州にあれば宜い譯であるが、産業のみならず警察等にしても、いろいろ密接な関係があるので、新京に関東局を置いてそこで満洲國と連絡を取つてやうに行くやうにして居る譯であります。これは非常に要態的に見えますけれども、實際の必要上已むを得ない組織であるやうに考へて居ります。

尚ほ満洲國と関東州との政治的關係等に就いて私の考へて居ることでもあります。未だ發表すべき時期でもないし、時間も経ちましたから、その問題は懇談に譲りまして、之で一先づ終ることに致します。

(以下懇談要旨略)

0060
S 1.3.3.0 -1

1229